

ふじた

人工膝関節手術支援ロボット「ROSA」を日本で初めて導入しました!!

整形外科のご紹介

藤田医科大学病院が中部地方初の
肺移植実施施設に認定されました

NASVA「一貫症例研究型委託病床」を拡充

Information

F U J I T A H E A L T H U N I V E R S I T Y H O S P I T A L



特集

人工膝関節手術支援ロボット「ROSA」を 日本で初めて導入しました!!



藤田医科大学病院に、国内初となる人工膝関節手術支援ロボット「ROSA Knee システム」が導入されました。本学の手術支援ロボットとしては、ダビンチについて2例目となります。

「ROSA Knee システム」は、インプラント（人工関節）の設置を計画する術者の正確な手技の遂行を支援します。その特徴は3つあり、第1に術中プランニングした適切な骨切り位置にロボットアームが誘導され、正確な骨切り位置を決定します。第2にプランニング通りになっているか誤差を数値で確認できます。第3にロボットアームにより術中のインプラントの位置などの微調整が可能です。術者は、モニターに示されたデータをもとに通常手技に近い感覚で手術が可能で、熟練度に関わらず良好な手術成績が期待できます。

今回の導入で、熟練したドクターの技術に加えて、ロボットの正確性・安全性というアシストを入れることができるようになりました。誰もが安全に人工関節置換術を受けられるように、ロボット支援手術を広めて健康寿命の延伸に寄与していきたいと考えています。

また、本学のサージカルトレーニングセンターで「ROSA」の実践的なプログラムが受講できるようになっており、未来を担う整形外科医の育成にも取り組んでいます。



整形外科のご紹介

こんにちは！
整形外科です。



医局紹介

超高齢社会を迎え、我が国では健康寿命延伸が必須課題となっています。その中で、要介護・要支援状態の原因の24.8%が運動器の障害で占められており、整形外科の担う責任は更に大きくなってきました。運動器に対する診断においては、CT、MRI、超音波検査などの精度が上がり、治療においてもナビゲーションシステムやロボット支援手術などの導入により技術力が格段に上がっています。当科は、四肢、脊椎、骨軟部腫瘍まで、すべての分野において経験豊富なエキスパートの医師をそろえています。更に最近では骨粗鬆症に対する治療も多岐にわたるようになり、骨粗鬆症外来も新たに開設しました。脊椎疾患に関しては脊椎・脊髄外科と、救急外傷に関しては救急科と協力し合いながら、全員が責任感と熱意をもって患者様の診療に携わっています。

教授紹介

患者さんに
ひとこと

整形外科 教授
藤田 順之 先生



Message

日本は長寿大国ですが、健康で元気に暮らせる「健康寿命」はそれほど長いわけではありません。人生百年時代にむけて、痛みなく体を元気に動かせるようにしたいものです。当科ではそのような痛みの原因となる、変形性関節症、脊椎変性疾患、肩の腱板断裂などを含む上肢の障害に対して、最新の技術力で治療に取り組んでいます。皆様が健やかにお過ごし頂くためのお手伝いをさせて下さい。

Profile

略歴

2000年 慶應義塾大学医学部卒業。
2007年 慶應義塾大学医学部博士課程卒業。
2010年 米国Thomas Jefferson大学整形外科留学。
2013年 慶應義塾大学医学部整形外科学教室助教。
2017年 慶應義塾大学医学部整形外科学教室専任講師。
2019年 藤田医科大学整形外科学教講座教授。現在に至る。

専門分野は脊椎脊髄外科。
現在、運動器変性疾患の研究に従事。

藤田医科大学病院が中部地方初の肺移植実施施設に認定されました

藤田医科大学病院は中部地方初の肺移植実施施設として認定されました。東北大学病院、東京大学医学部附属病院など10施設に続く11番目の施設です。これまで中部地方の患者さんは遠方の施設に紹介されていましたが、今後当院で肺移植適応評価、インフォームドコンセント、適応検討申請、待機登録、移植手術までを実施することができます。

2020年12月1日付肺移植実施施設に認定されたことを受け、日本臓器ネットワークへの待機登録のための諸手続きを進めてまいりましたが、2月初旬より正式に肺移植希望患者さんの待機登録が可能となりました。

肺移植術は国内の全施設合計でも年間60～90件ほどしか行われていません。当院では、前任地で90件以上の肺移植に携わってきた呼吸器外科の星川康教授、松田安史准教授を中心にチームで肺移植に取り組んでまいります。

肺移植の適応となるのは、間質性肺炎、肺気腫、肺リンパ脈管筋腫症、肺高血圧症などの慢性進行性肺疾患で、肺移植以外に救命の有効な手段がなく、残存余命が限定されると判断される場合です。年齢制限（両肺55歳未満、片肺60歳未満）など、種々の適応基準があります。肺移植をご希望の方は、主治医の先生を通じてお問い合わせをいただければ幸いです。



呼吸器外科
星川 康 教授

お問い合わせ先 ▶ 藤田医科大学病院 移植医療支援室 ☎0562-93-2013 ✉ fujita.haico@gmail.com

NASVA

「一貫症例研究型委託病床」を拡充

2021年1月1日より藤田医科大学病院は独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA）と「一貫症例研究型委託病床」について5床増床の受託契約を締結し、運用を開始しました。2018年設置の5床と合わせ、計10床の委託病床により、遷延性意識障害の治療および臨床研究を推進していきます。

2018年からC-8病棟で取り組んできた「一貫症例研究型委託病床」にはこれまで12名が入院し、脳神経外科・リハビリテーション科が中心となって治療・研究を進めてきました。その結果、5名が脱却※や退院するなどの治療効果があり、このような著しい治療効果はこれまでほとんど例がないことから、早期受け入れと積極的治療の継続によって治療改善効果がみられることが明らかとなりました。今回、専用病床を計10床に拡充することで、遷延性意識障害者の治療・看護・リハビリにおけるガイドライン・プログラム等の策定に向け臨床研究を進めるとともに、誰もが安心して暮らせる社会の実現に寄与していきます。



※「脱却」とは、意思疎通および運動機能等が一定程度改善した状態のことを指します。

院内ラジオ「フジタイム」 のご紹介



藤田医科大学病院では2019年12月から、院内ラジオ「フジタイム」を放送しています。現在、第30回の放送を迎え、企画から収録、一部編集までをすべて院内でおこない、患者さんに最新の医療情報や、ボランティアによる朗読、音楽などのプログラムをお届けしています。

病棟や院内に掲示・設置してあるポスターのQRコードを、ご自身のスマートフォンで読み込んでいただき、お聞きいただくことができます。ぜひご利用ください。



Recipe
15

食材 菜の花

風邪予防

春は1日の気温差が大きく、体調を崩しやすい季節です。菜の花やにんにんに豊富に含まれているβ-カロテンは、皮膚や粘膜を強くするはたらきがあり、体内へのウイルスの侵入を防ぎます。油脂と一緒に摂ると体に吸収されやすくなるため、炒めたりマヨネーズで和えるなどの調理法がおすすめです。

ご紹介させていただくサンドイッチは、季節の野菜がたっぷり摂れ、彩りも楽しめる一品です。お好みの食材でアレンジしても良いですね。



食養部が提案する

菜の花のサンドイッチ

材料 【2人分】

- | | |
|------------------------|----------------------|
| ● 食パン (10枚切り) …………… 4枚 | ● 塩 …………… 少々 |
| ● 菜の花 …………… 80g | ● レモン汁 …………… 大さじ2 |
| ● 塩 (塩茹で用) …………… 少々 | ● オリーブオイル …………… 大さじ1 |
| ● 卵 …………… 2個 | ● 砂糖 …………… 小さじ2 |
| ● ベーコン …………… 60g | ● 黒こしょう …………… 少々 |
| ● にんにん …………… 80g | ● マヨネーズ …………… 大さじ2 |
| | ● 練りからし …………… 4g |

おおよその栄養価 (1人分)

- | | |
|-------|----------|
| エネルギー | 590 kcal |
| たんぱく質 | 20.1 g |
| 塩分 | 2.1 g |

作り方

- 1 菜の花は5cmに切って塩茹でし、水気をきる。
- 2 卵は固ゆでにする。粗熱が取れたら殻をむき、縦半分に切る。
- 3 ベーコンは焼き目が付くように、フライパンで焼く。
- 4 にんにんは4~5cmの千切りにする。塩をかけて10分置き、水気をきった後にレモン汁、オリーブオイル、砂糖、黒こしょうを加えて混ぜる。
- 5 マヨネーズと練りからしを混ぜ合わせ、パンに塗る。
- 6 ラップの上にパン、にんにん、ベーコン、菜の花、卵(横に2つ並べる)、パンの順に重ね、ラップでぴったりと包む。
- 7 10分程度置いた後、卵が半分に切れるように、包丁で切る。

食養部：管理栄養士 前田こはる、調理師 那須恵実